

農事組合法人 対馬ミニライスセンター米左衛門

生産者数名が昭和62年から特別栽培米、平成8年から有機栽培米の生産に着手。地域の環境にやさしい米づくり推進のため、平成11年に法人を設立。

代表者名：菅原 孝明

所在地：山形県東田川郡三川町

品目：水稻等

面積：21.5ha

構成員：4名

取組の紹介

【環境負荷低減に資する取組】

- 定期的に土壌分析を実施。稲わらのすき込みに加え、地域内で製造された堆肥や自家製ぼかし肥料等、地域資源を活用した土づくりを実践。
- 有機栽培の麦等の連作障害防止及び雑草対策のため、平成22年から「なつみず田んぼ」の取組を開始し、生き物調査等を実施。平成28年には庄内地域で16年ぶりとなるコウノトリの飛来が確認される等、生物多様性の保全に寄与。

【安定出荷・販路確保の取組】

- 三川町は平成21年に、町内の全小中学校等での有機米給食を県内で初めて実施。以降、毎年1回、有機栽培米を提供しており、環境にやさしい農業に対する子ども達の理解醸成に尽力。

【情報伝達の取組】

- 消費者に対する各種イベントの開催に加え、産地からのメッセージ動画を生協のホームページに掲載する等、生産者と消費者の交流を図ることにより、三川町産の特別栽培米や有機栽培米の魅力を発信。
- 三川町のふるさと納税返礼品に有機栽培米を出品。三川町産の有機栽培米のPRとともに、環境にやさしい町のイメージ発信にも貢献。



「なつみず田んぼ」での生き物調査



飛来したコウノトリ



消費者イベントでのヒエ取り体験